

品質の光
AsahiNet 光

AsahiNet 光電話ご利用ガイド

AsahiNet 光電話のサービス概要

① AsahiNet 光電話のサービス概要	6
■ AsahiNet 光電話とは	6
AsahiNet 光電話の提供条件	6
本人確認手続きについて	6
■ AsahiNet 光電話の特長	7
■ AsahiNet 光電話のご利用方法	8
電話のかけ方	8
国際電話のかけ方	8
発信者番号通知、非通知のしかた	8
接続できない番号について	9
② ご利用上の注意事項	11
現在お使いの電話番号を継続してご利用の場合について（番号ポータビリティ）	11
「AsahiNet 光電話」解約時の電話番号の扱いについて	11
転用・事業者変更のお客様について	12
工事について	13
接続できない番号について	13
緊急通報などについて	13
ご契約の事業者様へ連絡を要するサービスについて	14
ご利用機器について	14
AsahiNet 光電話対応機器バージョンアップについて	15
国際通話等について	15
電話帳の掲載などについて	15
「AsahiNet 光電話」の料金について	16
「AsahiNet 光電話」のプラン変更・付加サービス変更・解約手続き	17
その他の留意事項	17
③ AsahiNet 光電話対応機器について	18
■ AsahiNet 光電話対応機器に接続可能な端末	18
AsahiNet 光電話対応機器に接続可能な端末台数	18
AsahiNet 光電話対応機器にパソコンを接続する場合の対応OS	18
■ AsahiNet 光電話対応機器のバージョンアップ	19
バージョンアップ方法	19
■ AsahiNet 光電話対応機器の再起動	20
④ IP電話対応機器のご利用について	21
■ 050IP電話対応機器のご利用について	21
⑤ 着信番号表示/ナンバー・リクエスト	23
■ 着信番号表示のサービス概要	23

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	24
■ 着信番号表示のご利用方法	25
電話機等の確認	25
電話機等の接続に関する注意点	25
電話機等の主な接続例	25
ディスプレイ等への表示内容	26
■ ナンバー・リクエストのサービス概要	27
「ナンバー・リクエスト」の機能	27
ご利用上の留意事項	27
他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項	27
⑥ 通話中着信	29
■ 通話中着信のサービス概要	29
「通話中着信」の機能	29
ご利用上の留意事項	30
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	31
■ 通話中着信のご利用方法	32
⑦ 着信転送	33
■ 着信転送のサービス概要	33
「着信転送」の機能	33
ご利用上の留意事項	36
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	38
⑧ 着信拒否	40
■ 着信拒否のサービス概要	40
「着信拒否」の機能	40
ご利用上の留意事項	41
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	41
⑨ 着信お知らせメール／FAXお知らせメール	43
■ 着信お知らせメール／FAXお知らせメールのサービス概要	43
「着信お知らせメール」の機能	43
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	43
「FAXお知らせメール」の機能	44
ご利用上の留意事項	45
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	45
⑩ ダブルチャネル／番号追加	46
■ ダブルチャネルのサービス概要	46
「ダブルチャネル」の機能	46
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	46
■ 番号追加のサービス概要	47

「番号追加」の機能	47
ご利用上の留意事項	47
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	47
■番号追加のご利用方法	48
11 テレビ電話／高音質電話／データ接続通信	49
■テレビ電話のサービス概要	49
「テレビ電話」の機能	49
ご利用上の留意事項	49
「テレビ電話」のご利用方法	50
■高音質電話のサービス概要	51
「高音質電話」の機能	51
ご利用上の留意事項	51
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	51
「高音質電話」のご利用方法	51
■データ接続通信のサービス概要	52
「データ接続通信」の機能	52
ご利用上の留意事項	52
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	52
12 通話料着信者払い	53
■通話料着信者払いのサービス概要	53
「通話料着信者払い」の機能	53
ご利用上の留意事項	53
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	54
13 特定番号通知機能	55
■特定番号通知機能のサービス概要	55
「特定番号通知機能」	55
ご利用上の留意事項	55
14 ひかり電話 #ダイヤル	56
■ひかり電話 #ダイヤルのサービス概要	56
「ひかり電話 #ダイヤル」の機能	56
ご利用上の留意事項	56
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項	56

AsahiNet 光電話のサービス概要

AsahiNet 光電話とは

「AsahiNet 光電話」は、NTT東日本・NTT西日本が提供するNTTひかり電話の卸提供を受け、ASAHIネット（以降「当社」とします）がお客様に提供するIP電話サービスです。

ご利用中の電話番号や電話機はそのまま、加入電話、INSネット、ひかり電話*への通話は全国どこにかけても3分8.8円の通話料でご利用になれます。また、付加サービスと繰越利用が可能な通話料が一体となった料金プラン「AsahiNet 光電話セットプラン」もご用意。さらに、便利におトクにご利用になれます。

*NTT東日本・NTT西日本が提供するNTTひかり電話および光コラボレーション事業者が提供するひかり電話を指します。法人向けも含まれます。

AsahiNet 光電話の提供条件

- 「AsahiNet 光電話」のご利用には、「AsahiNet 光」のご契約が必要です。
- 「AsahiNet 光電話」のご利用には、当社がレンタルで提供する「AsahiNet 光電話対応機器」などが必要です。
- 停電時は、緊急通報を含む通話ができません。
- NTT東日本・NTT西日本の収容局が変わる場所に移転される場合、同一電話番号を継続してご利用いただけません。
- 114（お話し中調べ）など、一部接続できない番号があります。
- 他社でご利用中の電話番号について、「AsahiNet 光電話」では継続利用できない場合があります。
- FAX専用機器やビジネスホン等、一部「AsahiNet 光電話」でご利用いただけない電話機があります。
- ご契約内容については、後日ご利用開始日までに「会員登録証」をお送りしますのでご確認ください。なお、ご利用料金請求額、通話明細内訳、ご契約内容は当社のマイページでもご確認ください。
- 「AsahiNet 光電話」のお申し込み内容の確認が必要な場合はお客様へご連絡させていただきます。お客様とご連絡が取れずサービスの提供開始ができない場合、一定期間をもってお申し込みをキャンセルとさせていただきます場合があります。

本人確認手続きについて

- お申し込みのサービスによっては法律に基づき、本人確認書類の提出が必須となる場合がございます。その場合に、ご契約者本人によるお申し込みであることを確認するため、本人確認書類のご提出をお願いしているお手続きの事です。
- AsahiNet 光電話でセットプランのお申し込みを含み付加サービス「着信転送」をご利用される場合、本人（法人性）確認手続きが必要です。
- AsahiNet 光を転用または事業者変更でお申し込みの場合、変更元事業者で「着信転送」相当のサービスのご利用が確認できましたら、お申し込みの内容を問わず本人（法人性）確認手続きが必要です。

AsahiNet 光電話の特長



ご利用中の電話番号・電話機がそのまま使える

現在ご利用の電話番号*¹や電話機*²をそのままご利用になれます。

- *¹ 一部そのままご利用になれない電話番号があります。また、現在ご利用中の電話番号をそのまま利用する場合、別途工事費がかかります。
- *² 「ISDN対応電話機」、「G4FAX」など、ご利用になれない電話機があります（アダプター等の追加によりご利用になれるISDN対応電話機もございます）。



加入電話への通話料は全国どこにかけても 3分 8.8円

加入電話、INSネット、ひかり電話への通話は全国どこにかけても3分8.8円でご利用になれます。

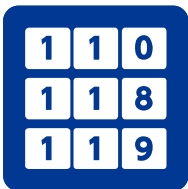
※携帯電話への通話などについては通話料が異なります。

※「テレビ電話」の通話料および「データ接続通信」の通信料については料金が異なります。



音声品質は加入電話相当

音声パケットを優先して扱うので、加入電話相当の音声品質を実現しています。



緊急機関への通報も OK

110番・119番などの緊急機関への通報もご利用になれます。*³

- *³ 停電時は、緊急通報を含む通話できません。



自分にあった料金プランが選べておトク

お客様のご利用状況にあった料金プランがお選びになれます。

【選べる料金プラン】

- ・AsahiNet 光電話ベーシックプラン…基本料金がおトク
- ・AsahiNet 光電話セットプラン……付加サービスをご利用される方におすすめ



テレビ電話、高音質電話、データ接続通信が基本サービスとして利用可能

「AsahiNet 光電話」なら、「高品質で滑らかな映像のテレビ電話」や「クリアな音質の電話」、「高画質で安価なFAX通信やセキュリティの高いファイル共有」などがご利用になれます。

※別途、対応機器が必要です。

※NTT 東日本・NTT 西日本が提供する NTT ひかり電話から「AsahiNet 光電話」に「転用」または他社から「事業者変更」された一部のお客様においては、別途お申し込みが必要となる場合があります。

AsahiNet 光電話のご利用方法

電話のかけ方

電話のかけ方は、従来の加入電話と同じです。

※最後の番号をダイヤルしてから数秒後に発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#（シャープ）」を押してください。

[電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にする必要があります。]

※「AsahiNet 光電話」で自動音声応答装置（IVR）等をご利用になる場合は、電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にしてご利用ください。

国際電話のかけ方

「AsahiNet 光電話」では、国際通話に関してはエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社のサービスをご利用いただきます。



例 ニューヨーク（0212）の123-4567番に電話する場合

010 + 1 + 212 + 123 - 4567

↑ 国際電話であることを示す番号
↑ 国番号
↑ ニューヨークの市外局番

相手の市外局番、および携帯電話番号が0から始まる場合、最初の0を取った番号をダイヤルします。
※一部例外地域もあります。

発信者番号通知、非通知のしかた

● 「通知」をお選びの方

今までどおりのかけ方で、電話番号を通知します。ただし、相手の電話番号の前に「184」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号は通知されません。



● 「非通知」をお選びの方

今までどおりのかけ方で、電話番号を通知しません。ただし、相手の電話番号の前に「186」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号を通知することができます。



※指定着信機能を設定したポートから、電話番号を通知して発信した場合、電話番号のみ通知され、指定着信番号は通知されません。

※国際通話等における発信者番号通知について

国際通話等での発信者電話番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保障するものではありませんので、ご了承願います。

接続できない番号について

「AsahiNet 光電話」では、加入電話等と異なり、以下「接続可否一覧」のとおり接続できない番号があります。

ご利用の際はご注意ください。

● 【1XY】番号

電話番号	サービス名等	可否
104	番号案内	○
110	警察（緊急通報）	○
113 ^{*1}	NTT東日本・NTT西日本 故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	NTT東日本・NTT西日本 営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバー・アナウンス/ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん/二重番号サービス	×
142	着信転送	○
144	着信拒否	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	転送電話セレクト機能	○
148	ナンバー・リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○
188	消費者ホットライン	○
189	児童相談所全国共通ダイヤル	○

*1 「AsahiNet 光電話」の故障等に関するご相談はASAHIネット 技術サポートへご連絡ください。

● 【00XY】 番号等 事業者識別番号

「AsahiNet 光電話」から電気通信事業者を指定した発信（0036や0033など番号の頭に「00XY」を付与する番号）はできません。

● 【0AB0】 番号

電話番号	サービス名等	可否
0120	フリーアクセス/フリーダイヤル等	○ ^{*1}
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレドーム	○
0180	テレゴング/データドーム	×
0570	ナビダイヤル	○ ^{*2}
0800	フリーアクセス等	○ ^{*1}
0910	公専接続	×
0990	災害募金番組 ^{*3}	○

*1 フリーアクセスやフリーダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。

*2 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社が提供するナビダイヤルのみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。

*3 激甚災害発生時に災害募金番組が提供された場合にご利用いただけます。

● 【0A0】 番号

電話番号	サービス名等	可否
010 ^{*1}	国際通話	○
050	IP電話	○
070/080/090	携帯電話	○

*1 国際フリーダイヤル等（「010-800」で始まる番号）には接続できません。

● 【# + ABCD】 番号

電話番号	サービス名等	可否
# 7000～# 9999	# ダイヤル（一般加入電話などで提供のもの）	×
# 7000～# 9999	ひかり電話 # ダイヤル等	○ ^{*1}

*1 ひかり電話 # ダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。

現在お使いの電話番号を継続してご利用の場合について (番号ポータビリティ)

- NTT東日本・NTT西日本の加入電話などをご利用いただいているお客様が、本サービスを同一設置場所でご利用いただく場合、現在ご利用中の電話番号をそのまま利用することを番号ポータビリティといいます。
- 番号ポータビリティのご利用には、別途1番号毎に同番移行工事費がかかります。
- 番号ポータビリティのご利用にあたっては、加入電話を利用休止扱いとさせていただきます。なお、NTT東日本・NTT西日本などより利用休止工事費等を請求いたします。工事完了後、休止番号を記載した休止票が送付されます。利用休止から5年間を経過し、更にその後5年間（累計10年間）を経過してもお客様から利用休止の継続、再利用のお申し出がない場合には契約解除の扱いとなります。
- 番号ポータビリティをご利用する場合、申し込者が現在お使いの電話サービスの契約者から同意を得ているものとして受付します。
- 番号ポータビリティをご利用している場合で、設置場所を変更（引越しなど）する際は、NTT東日本・NTT西日本の加入電話などにおいて同一番号で移行可能なエリア内に限り、移転先で同じ番号をご利用いただくことが可能です。
- 加入電話などの利用休止に伴い、対象の電話番号でご利用のNTT東日本・NTT西日本にて提供するサービス（割引サービスなど）は解約となります。月額利用料が発生するサービスや、定額料金が発生する割引サービスなどにご加入の場合、必要に応じてお客様ご自身でサービスの利用終了の連絡を行ってください。利用の如何に関わらず、料金が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 「AsahiNet 光電話」にてご利用となる電話番号（加入電話などから番号ポータビリティにより継続利用された電話番号）は、「AsahiNet 光電話」解約時にNTT東日本・NTT西日本の加入電話などへ番号ポータビリティにより継続利用することができます。
- 「AsahiNet 光電話」はマイライン対象外です。加入電話などから現在お使いの電話番号を継続して「AsahiNet 光電話」でご利用になるお客様の場合、マイライン契約は解除されます。
- 「着信転送」は、加入電話などのボイスワープと一部機能が異なります。

「AsahiNet 光電話」解約時の電話番号の扱いについて

- 「AsahiNet 光電話」でご利用の電話番号は、「AsahiNet 光電話」解約時に、番号ポータビリティにより継続利用することはできません。（加入電話などから番号ポータビリティにより「AsahiNet 光電話」でご利用の電話番号を、NTT東日本・NTT西日本の加入電話などへ再度番号ポータビリティにより継続利用する場合は除く）

■ 転用・事業者変更のお客様について

- NTT東日本・NTT西日本で提供している「NTTひかり電話」をご利用されているお客様が、「AsahiNet 光電話」に契約を変更することを転用といいます。
- 転用にあたり、電話番号が変更となる場合があります。変更された番号は初期契約解除時であっても変更前に戻すことはできません。
- 転用により工事等の費用が発生した場合は、初期契約解除時であっても、その費用について取消やご返金を行うことができません。
- ご利用中のNTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話は、フレッツ光の転用と同時に自動的に転用されます。NTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話でのご契約内容を原則引き継ぎますが、転用前後のサービス内容や料金については、一部変更となる場合があります。
- 付加サービスは一部名称が変わりますが、サービス内容には変更ありません。
- 転用同時の料金プラン変更、付加サービスのお申し込み・廃止はできません。
- NTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話契約時の電話帳の掲載内容、電話番号案内（104）の登録内容は「AsahiNet 光電話」に転用後も引き継がれます。

以下は、NTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話との相違点となります。

① 料金プランについて

NTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話「ひかり電話A（エース）」またそれ相当の光電話サービスをご利用の場合、転用または事業者変更前に保持していた無料通話分は引き継ぐことができません。NTT東日本・NTT西日本が提供している「安心プラン」、「もっと安心プラン」を契約している場合、NTTひかり電話「基本プラン」または「ベーシックプラン」へご変更のうえ、AsahiNet 光電話へお申し込みください。

② 付加サービス・割引サービス

- NTTひかり電話提供の以下サービスについては、「AsahiNet 光電話」では継続してご利用いただけません（転用と同時に廃止となります）。

テレビ電話チョイス定額 / 同一契約者グループ内通話 / 付加サービスセット割（NTT東日本のみ）

- 以下サービスは、「AsahiNet 光電話」に転用または事業者変更の際に継続してご利用いただけますが、新規申込の受付はしていません。

フリーアクセス・ひかりワイド番号 / 特定番号通知機能 / ひかり電話#ダイヤル

※サービス名称はNTTひかり電話のものとなります、他事業者提供の場合は名称が異なる場合がございます。

※対象付加サービスを解約されたり、お引越し等で電話番号が変更となる場合も、お申し込みを受付することができません。

工事について

- お客様のご利用場所および設備状況などにより、ご利用開始までの期間は異なります。設備状況などにより、サービスのご利用をお待ちいただく場合やご利用いただけない場合があります。
- 派遣工事が必要な場合はお客様宅にお伺いして工事を実施します。派遣工事が不要な場合は事前にONU等を送付しますので、お客様ご自身で取り付け願います。

接続できない番号について

- 「AsahiNet 光電話」では、一部接続できない番号があります。
- 「AsahiNet 光電話」から電気通信事業者を指定して接続（番号の頭に「00××」を付加）することはできません。一部電話機・FAXなどに搭載されている「固定電話から携帯電話への通話サービスに対応した機能（例：携帯通話設定機能（0036自動ダイヤル機能））」や、「ACR（スーパーACRなど）機能」が動作中の場合、通信事業者選択機能が働き、本サービスからの接続ができなくなる場合があります。「AsahiNet 光電話」をご利用になる前に、上記機能の停止や提供会社へ解約手続きを行ってください。

緊急通報などについて

- 停電時は緊急通報を含む通話できません。携帯電話や、お近くの公衆電話をご利用願います。
- 緊急通報番号（110/119/118）へダイヤルした場合、発信者番号通知の通常通知・非通知にかかわらずご契約者の住所・氏名・電話番号を接続相手先（警察／消防／海上保安）に通知します（一部の消防を除く）。なお、「184」をつけてダイヤルした場合には通知されませんが、緊急機関側が、人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の住所・氏名・電話番号を取得する場合があります。
- 火災通報装置や非常通報装置、その他高齢者向け等の緊急通報装置を接続する電話回線として、本サービスをご利用いただけない場合があります。詳しくは通報装置の製造会社にお問い合わせください。

ご契約の事業者様へ連絡を要するサービスについて

<ガス漏れなどの自動通報・遠隔検針など、ノーリングサービスをご利用の場合>

ご契約の事業者（ガス会社など）により、その扱いが異なります。お客様ご自身で必ずご契約の事業者へ「AsahiNet 光電話」へ変更する旨の連絡を行ってください。「着信番号表示」をご契約いただくことで、「AsahiNet 光電話」でもノーリングサービスと同等のサービスをご利用可能な場合もありますので、ご契約の事業者へご相談ください。

<セキュリティサービスをご利用の場合>

ご契約の事業者（警備会社など）により、その扱いが異なります。お客様ご自身で、必ずご契約の事業者へ「AsahiNet 光電話」に変更する旨の連絡を行ってください。

<着信課金サービスをご利用の場合>

着信課金サービス提供事業者において、「AsahiNet 光電話」は契約可能な回線として指定されていない場合があります。

お客様ご自身で、必ずご契約の事業者へ「AsahiNet 光電話」に変更する旨の連絡を行ってください（各事業者との解約手続きなどが必要となる場合があります）。

ご利用機器について

- ISDN対応電話機、G4FAXなど、ご利用いただけない電話機があります。（アダプターなどの追加によりご利用いただけるISDN対応電話機もあります）
- FAXはG3モードのみご利用いただけます。
 - ※G4モードなどのデジタル通信モードではご利用いただけません。
 - ※スーパーG3モードの場合、通信環境によりご利用いただけない場合があります。
 - ※G3モードでご利用であっても、通信相手がISDN回線をご利用の場合、通信相手側のターミナルアダプターなどの設定によっては、「AsahiNet 光電話」からのFAX送信ができない場合があります。
 - ※モデム通信については、お客様の宅内環境、通信機器、回線状況の影響を受けることがあります。
 - ※加入電話などでご利用のレンタル電話機の継続利用はできません。「116」へ解約手続きを行ってください。
- AsahiNet 光電話対応機器の接続は、当社よりお知らせした「AsahiNet 光電話」の開通日以降に実施してください。「AsahiNet 光電話」の開通日以前に接続した場合、「AsahiNet 光電話」はご利用いただけません。
- AsahiNet 光電話対応機器を初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。
- AsahiNet 光電話対応機器は、回線終端装置（またはVDSL宅内装置）とLANケーブルで直接接続してください。AsahiNet 光電話対応機器と回線終端装置（またはVDSL宅内装置）の間に、ハブやルーター等を接続すると「AsahiNet 光電話」を正常にご利用いただくことができない場合があります。
- 接続できる電話機の台数は、2台までとなります。
- 電話機に接続されているドアホンをご利用の場合、屋内配線工事が必要となる場合があります。設置された工事会社へ確認を行ってください。

AsahiNet 光電話対応機器バージョンアップについて

- AsahiNet 光電話対応機器のバージョンアップは、AsahiNet 光電話対応機器が定期的に自動チェックし、お客様が受話器を取り上げた際、「ピーピーピーピー」という音にて通知しますので、お客様ご自身にて実施していただく必要があります。

国際通話等について

- 国際通話等での発信電話番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況等により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保証するものではありません。
- 国際電話のご利用にあたっては、第三者による不正な電話利用等の被害にご注意ください。
- 新規に「AsahiNet 光電話」をお申し込みのお客様につきましては、国際通話の発信ができないように設定しております。
「国際通話の発信」をご希望の場合、当社までお申し出ください。規制を解除する場合、解除完了まで3日程度かかります。なお、転用のお客様につきましては、転用前の設定を引き継ぎます。
- 第三者による不正利用が疑われる場合は、被害抑止の観点から国際通話の発信規制をご案内する場合があります。
なお、緊急的な措置として、当社判断により「国際通話の発信規制」を設定させていただく場合があります。

電話帳の掲載などについて

- 電話帳「タウンページ」の掲載名称は、お申し込み後にNTTタウンページ社と調整いただくものとなります。
- 1つの電話番号につき、1掲載が無料となります（「番号追加」でご利用の電話番号も対象）。1つの電話番号につき、2つ以上の掲載をご希望の場合は、重複掲載料が必要となります。
- 重複掲載料は、電話帳発行の都度追加分1掲載ごとに550円（税込）です。

「AsahiNet 光電話」の料金について

- 「AsahiNet 光電話」のご利用料金等は「AsahiNet 光」のご利用料金等とあわせての請求となります。
- 月額利用料、付加サービス料金およびユニバーサルサービス料は、ご利用いただいた月の翌月の請求になります。通話料・通信料はご利用いただいた月の翌々月のご請求になります。ご請求タイミングの詳細につきましてはAsahiNet 光電話サービスページをご確認ください。
- 次の場合、「AsahiNet 光電話」のご利用を停止させていただく場合があります。
 - ご利用料金のお支払いを当社にて確認できない場合
 - その他当社が必要と判断したとき
- 利用停止となった場合、利用再開のお手続きから実際に利用再開できるまでにお時間がかかる場合があります。
- 通話明細内訳を当社が記録することに同意いただきます。なお、通話明細内訳については、当社の会員専用ページでご確認いただけます。書面での提供はありません。

「AsahiNet 光電話」のプラン変更・付加サービス変更・解約手続き

- 当社の会員専用ページにて承ります。

ASAHIネット会員専用ページ <https://bbb.asahi-net.or.jp/bbbj/apply/hikari.do>

その他の留意事項

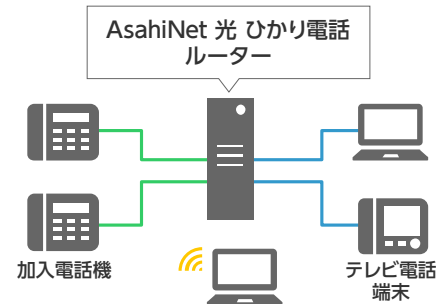
- 「AsahiNet 光電話」では、発信先（相手側）が応答しない場合、約3分後に自動的に接続が切断されます。このため、発信先がフリーダイヤルなどで、混雑により「しばらくお待ちください」などのガイダンスが流れ、待ち合わせの状態であっても、発信から約3分後に自動的に接続が切断されます。
- 工事担当者がお客様宅へお伺いせずに「AsahiNet 光」または「AsahiNet 光電話」に関する工事を行い、「AsahiNet 光電話」または「AsahiNet 光電話」の付加サービス等が利用できなくなったときは、お客様ご自身でAsahiNet 光電話対応機器等の再起動を行ってください（再起動を行ってもご利用できない場合は、当社へお問い合わせください）。
- NTT東日本・NTT西日本の設備のメンテナンス等のため、サービスを一時中断する場合があります。
- 「AsahiNet 光電話」の付加サービス「着信番号表示」「着信転送」「着信お知らせメール」はご契約時には停止状態のため、ご利用前に電話機等による設定が必要です。なお、加入電話の「ボイスワープ」「ナンバー・リクエスト」等付加サービスをご利用いただいている場合であっても、再度設定が必要となりますので、必ず設定を行ってください。
- 新規に「AsahiNet 光電話」をお申し込みのお客様につきましては、「発信者番号通知あり」に設定しております。設定変更をご希望の方はご利用開始後に別途お申し込みください（その場合、変更のための工事費が発生します）。なお、転用のお客様につきましては、転用前の設定を引き継ぎます。
- 提供条件など変更になった場合は、当社ホームページ等でお知らせします。

AsahiNet 光電話対応機器に接続可能な端末

AsahiNet 光電話のご利用には、当社がレンタルで提供する「AsahiNet 光電話対応機器」などが必要です。

AsahiNet 光電話対応機器に接続可能な端末台数

端末種類	利用可能端末台数
加入電話機 (G3FAX機含む)	最大2台 (TELポート2つ)
有線接続IP端末 (テレビ電話端末など)	最大4台 (LANポート4つ)
無線接続IP端末 (無線LANカード利用端末など)	最大5台



接続に関するご注意

- 「AsahiNet 光電話対応機器」の接続は、当社よりお知らせした、「AsahiNet 光電話」の開通日以降に実施してください。
「AsahiNet 光電話」の開通日以前に接続した場合、インターネットおよび「AsahiNet 光電話」はご利用いただけません。
- 「AsahiNet 光電話対応機器」を初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。

AsahiNet 光電話対応機器にパソコンを接続する場合の対応OS

接続方法対応OS	接続方法対応OS
「AsahiNet 光電話対応機器」とパソコンを有線 (LANケーブル) で接続する場合	Microsoft Windows 10 Microsoft Windows 8.1 Microsoft Windows 8 Mac OS X
「AsahiNet 光電話対応機器」とパソコンを無線 (専用無線LANカード) で接続する場合	Microsoft Windows 10 Microsoft Windows 8.1 Microsoft Windows 8

※Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 7については、一部64bit版へ対応していない場合があります。

AsahiNet 光電話対応機器のバージョンアップ

「AsahiNet 光電話対応機器」のファームウェア*をバージョンアップすることで、最新の機能やサービスをご利用いただくことができます。

*ファームウェアとは、「AsahiNet 光電話対応機器」を動作させるソフトウェアです。「AsahiNet 光電話対応機器」の機能追加や機能改善に対応するため、必要に応じ最新のファームウェアを提供します。

バージョンアップ方法

初期設定が自動更新となっています。最新のファームウェアが提供された場合、あらかじめ設定されている時間帯（午前1時～午前5時のいずれか）に自動的にファームウェアの更新を行います。

自動更新が『5:00』に設定されている場合は、
『5:00～5:59』の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

再起動中は約1分間、「AsahiNet 光電話」やインターネット、映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用いただけません。手動更新に変更したい場合、または自動更新の時間を変更したい場合は、「AsahiNet 光電話対応機器」の取扱説明書をご覧ください、設定を変更してください。

※電話機から設定する場合は、「AsahiNet 光電話ご利用ガイド」をご覧ください。

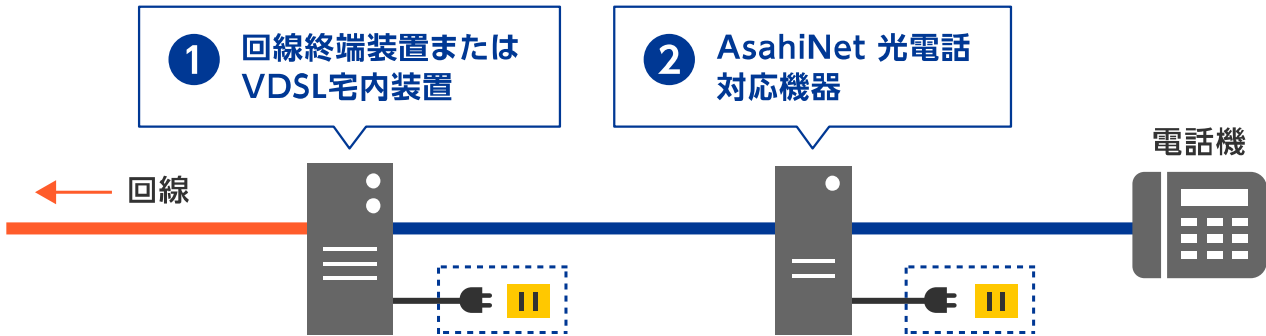
※設定時間に通話や通信を行っている場合は、ファームウェアの更新が翌日の設定時間に延期されることがあります。

バージョンアップ中のご注意

- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に「AsahiNet 光電話対応機器」の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因となります。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、「AsahiNet 光電話」をご利用いただけません。

AsahiNet 光電話対応機器の再起動

「AsahiNet 光電話」がご利用できない場合は、「AsahiNet 光電話対応機器」の再起動を行ってください。再起動方法は下記のとおりです。



手順 1

①、②の電源コードを一旦外したのち、①の電源コードを入れ直してください。

※①、②が一体型の場合があります。その場合、電源コードを一旦はずしたのち、「手順 2」からはじめてください。

手順 2

2~3分程度たったのち、②の電源コードを入れ直してください。

※「AsahiNet 光電話対応機器」のVoIP ランプまたはひかり電話ランプが緑色に点灯し、受話器をあげて「ツー」という発信音が聞こえたら、「AsahiNet 光電話」は利用できます。

手順 3

15分以上たっても通話ができない場合は、②の電源コードを外し、「手順 2」から繰り返してください。

※上記の手順でも「AsahiNet 光電話」がご利用できない場合は、当社へお問い合わせください。

050IP電話対応機器のご利用について

下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の制約事項があります。下記機器構成でのみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨いたしません。

接続構成	接続構成ごとの注意事項
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> IP電話アダプターをご利用の場合 </div> <p style="color: red; font-weight: bold; border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">IP電話アダプターの 手動バージョンアップ 時のみつなぎ変える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「AsahiNet 光電話対応機器」のファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「AsahiNet 光電話対応機器」の「バージョンアップお知らせ機能」*の通知音を聞くことができません。ファームウェア更新有無は、お客様の責任のもと、パソコンより随時ご確認し、バージョンアップを実施してください。なお、ファームウェアの更新がある際は、電話機にて「00000* * * * 11」をダイヤルしていただくことで、簡単にバージョンアップすることも可能です。 * IP電話アダプターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。従って、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話アダプターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなりませぬ。なお、ファームウェアの更新がある際は、電話機にて「00000* * * * 11」をダイヤルしていただくことで、簡単にバージョンアップが可能です。 <p>また、パソコンからバージョンアップをする時のみIP電話アダプターにパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。</p>
<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> IP電話ルーターをご利用の場合 </div> <p style="color: red; font-weight: bold; border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">AsahiNet 光 ひかり 電話ルーターの手動 バージョンアップ時の みつなぎ変える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「AsahiNet 光電話」と050IP電話を同時利用する場合は、インターネット等への接続設定は、すべてIP電話ルーターで行うため、「AsahiNet 光電話対応機器」へのインターネット接続設定等はなさらないよう、お願いします。 ● 本ルーター構成でご利用の場合、インターネット接続設定がないためAsahiNet 光電話対応機器のLANポートに接続したパソコンからは、インターネットに接続できません。ファームウェア手動更新時を除き、パソコンはインターネット接続設定を行ったIP電話ルーターに接続してください。 ● 「AsahiNet 光電話対応機器」は出荷時には「PPPoEブリッジ機能」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。 <p>「AsahiNet 光電話対応機器」のファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「バージョンアップお知らせ機能」*をご利用いただくことができません。お客様の責任のもと、「AsahiNet 光電話対応機器」に接続したパソコンからファームウェアの更新状況を確認し、更新を実施する必要があります。更新作業時のみ「AsahiNet 光電話対応機器」にパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。</p> * IP電話ルーターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。したがって、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話ルーターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなります。

※050IP電話で接続不可な番号（110・119等）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「AsahiNet 光電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信する必要があります。050IP電話からの発信は「AsahiNet 光電話プラス」の月額利用料に含まれる通話料の対象にはなりません。

付加サービスの概要

着信番号表示のサービス概要

※「着信番号表示」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の基本料金に含まれる付加サービスです。

●着信番号表示

かけてきた相手の電話番号を電話機のディスプレイに表示します。
また、かけてきた相手の電話番号が通知されない場合は、その理由を表示します。



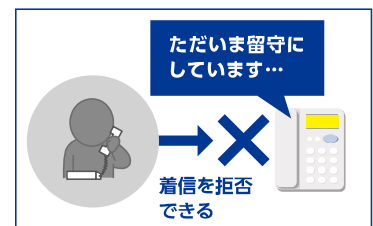
●着信履歴表示

留守番電話にメッセージが残っていない場合や電話に出られなかった場合でも、かけてきた相手の電話番号が記録されます。かけ直しの操作も簡単です。



●迷惑電話対応

出たくない相手の電話番号を電話機に登録しておけば、着信音を鳴らさずに専用の応答メッセージで対応することができます。



※上記の利用例は、「着信番号表示」とナンバー・ディスプレイ対応の電話機などの機能を組み合わせることをご利用になれます。機種によっては機能の詳細に違いがあったり、ご利用になれない機能がありますので、詳しくは販売店にご確認いただくか、電話機の取扱説明書をご覧ください。

「通話中着信」を併せてご利用になる場合

AsahiNet 光電話対応機器の「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」での割り込み着信の際にも電話番号が表示可能です。

※「キャッチホン・ディスプレイ」機能の設定方法は、「AsahiNet 光電話ご利用ガイド」をご覧ください。

※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイ機能を「使用しない」に設定されています。

※AsahiNet 光電話対応機器「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることをご利用いただけます。

※「通話中着信」での割り込み着信時に、ご契約者と最初の通話相手の双方とも約1秒程度無音になります。

※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	非通知でかかってきた場合は、着信しないため、「非通知」等の表示はされません。
通話中着信	「通話中着信」等での割り込み着信の際には、「着信番号表示」による電話番号の表示はできません。
着信転送	<p>「着信転送」による転送先への電話番号通知については、転送の設定状況にかかわらず発信元電話番号が表示されます。また、転送の設定状況にかかわらず、発信元(A)が「184」をダイヤルすると電話番号は通知されません。</p> <p>Bが「着信転送」を、Cが「着信番号表示」を契約している場合</p> <div style="text-align: center;"> <p>・無条件転送 ・無応答時転送 ・話中時転送 } 発信元Aの電話番号を表示</p> <p>発信元A → 転送元B → 転送 → 転送先C</p> </div>
着信拒否	「迷惑電話リスト」に登録した電話番号からの着信には、メッセージで応答し、着信しないため電話番号などは表示はされません。
番号追加	「着信番号表示」は、「AsahiNet 光電話」利用回線ごとのご契約となるため、契約番号・番号追加への着信の区別なく表示可能な電話番号を表示します。
指定着信機能*	指定着信番号は表示されません。

* 「AsahiNet 光電話対応機器」の機能です。

ご注意ください

国内の加入電話や携帯電話から発信された場合、「0」以外から始まる番号が表示されることはありません。「0」以外から始まる番号が表示されているにもかかわらず、通話先が警察や官公庁などの公的機関を名乗るなど、あたかも国内から発信しているような内容を装っている場合には、振り込め詐欺等の可能性に十分ご注意ください。

着信番号表示のご利用方法

電話機等の確認

- 本サービスのご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の通信機器やアダプターの設置、およびその設定が必要となります。
- 通信機器にディスプレイがあってもナンバー・ディスプレイに対応していないと電話番号は表示されません。
- ナンバー・ディスプレイに対応した通信機器には **ID**、**ciD**、**ND** や「ナンバー・ディスプレイ対応」などと表示されています。

電話機等の接続に関する注意点

- 本サービスの工事日までに現在ご利用の電話機をナンバー・ディスプレイ対応の電話機などにお取り替えのうえナンバー・ディスプレイ機能を「ON」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機でご利用される場合は、ナンバー・ディスプレイ対応のアダプターを設置してください。

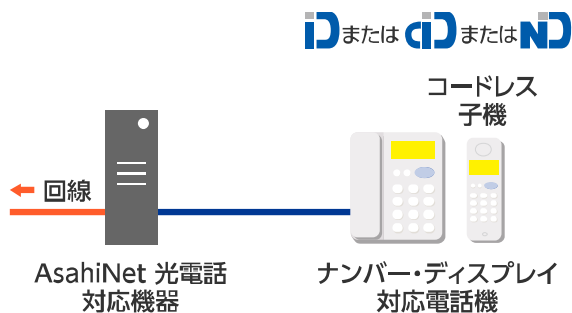
※万一、本サービスに対応していない電話機を接続した場合、短い断続した呼び出し音の後、通常の呼び出し音が聞こえますので、通常の呼び出し音に変わってから電話に出るようにしてください。通常の呼び出し音に変わるまで5～6秒かかります。

※本サービスを利用している回線に本サービス対応の電話機と本サービスに対応していない自動応答端末（留守番電話機やFAXなど）を同時に接続すると、接続方法によっては番号の表示ができなかったり、途中で通話が切断される場合があります。

電話機等の主な接続例

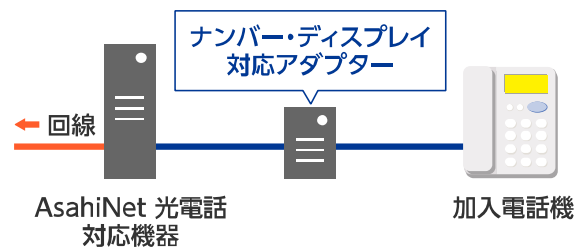
例1 ナンバー・ディスプレイ対応電話機を1台接続する場合

AsahiNet 光電話対応機器にナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続します。電話機にコードレス子機がセットになっている場合は、親機を接続します。



例2 加入電話機とナンバー・ディスプレイ対応アダプターを接続する場合

アダプターに添付されているコードをアダプター背面の「電話回線コード差し込み口」に接続し、もう一方をAsahiNet 光電話対応機器に接続します。加入電話機の電話機コードをアダプター背面の「電話機コード差し込み口」に接続します。



ディスプレイ等への表示内容

かけてきた相手が電話番号を通知するか否かによって次のような内容が表示されます。

電話種別	電話回線のご利用形態	発信時の操作	表示例
ひかり電話・ 加入電話・ INSネット からの発信	通知	相手の電話番号	「0312345678」
		「186」+相手の電話番号	
		「184」+相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
	非通知	相手の電話番号	
		「186」+相手の電話番号	
		「184」+相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
公衆電話からの発信		相手の電話番号	「公衆電話」、「コウシュウデンワ」 または「C」
		「186」+相手の電話番号	
		「184」+相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
国際電話などで電話番号を 通知できない通話		相手の電話番号	「表示圏外」、「ヒョウジケンガイ」 または「O」、「S」
		「186」+相手の電話番号	
		「184」+相手の電話番号	

※ご利用の通信機器によって表示内容が異なる場合があります。

※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際電話など電話番号を通知できない通話および公衆電話からの通話については電話番号は表示されず、電話番号を通知できない理由（「表示圏外」、「公衆電話」等）がディスプレイに表示されます。

※かけてきた相手の利用電話回線が「通常非通知」のご契約になっている場合や、電話番号の前に「184」をつけてかけてきた場合など、かけてきた相手の意思により電話番号を通知しない通話については電話番号は表示されず「非通知」表示となります。

※電話をかけてきた相手の方がIP電話から電話をかけてきた場合、電話番号および電話番号を表示できない理由（「非通知」、「表示圏外」等）については、各IP電話事業者により異なります。また、表示された電話番号に折り返し電話をかけてもつながらない場合があります。（接続の可否および時期については各IP電話事業者により異なります。）

※ご利用の通信機器によっては、電話番号も電話番号を表示できない理由も表示されない場合があります。

ナンバー・リクエストのサービス概要

※「ナンバー・リクエスト」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の月額使用料に含まれる付加サービスです。

「ナンバー・リクエスト」の機能

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」と音声メッセージで応答する機能です。この場合、着信音はなりません（かけた方には通話料金がかかります）。

※ご契約時は停止状態です。ご利用いただくためには電話機による開始の設定が必要です。



ご利用上の留意事項

ご利用いただくには、「着信番号表示^{*}」のご契約が必要です。

^{*}「着信番号表示」のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応電話機が必要です。

※自動車・携帯電話（一部事業者）、国際電話（一部除く）などからの電話番号を通知できない着信、公衆電話からの着信についてはナンバー・リクエストは機能せず、そのまま着信します。

※「データ接続通信」で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
通話中着信	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、通話中着信は機能せず、ナンバー・リクエストのメッセージで応答します。
着信転送	着信転送の転送機能を利用中に電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人には「ナンバー・リクエスト」のメッセージで応答します。
着信拒否	「迷惑電話リスト」に登録されている電話番号を「通知しない」でかけてきた電話番号の場合、「着信拒否」のメッセージで応答します。
着信お知らせメール	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
番号追加	「ナンバー・リクエスト」は、「AsahiNet 光電話」利用回線ごとのご契約となるため、電話番号ごとに「ナンバー・リクエスト」のサービス開始／停止の設定をする必要はありません。

「発信者個人情報保護ガイドライン」について

郵政省（現、総務省）は、本サービスにより通知された電話番号が不当に利用されることを防止するため、平成8年11月に「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を制定しました。このガイドラインは、本サービスの事業用利用者を対象とし、番号情報の適正利用を促しています。郵政省（現、総務省）は同年11月に関連業界に対しガイドラインの周知を行いました。当社では、発信電話番号情報を適正にご利用いただくよう、サービスをご利用いただくお客様に対して、ガイドラインをご理解いただくよう努めております。

「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

● 発信者情報通知サービスの利用における 発信者個人情報の保護に関するガイドライン

1. 目的

このガイドラインは、発信電話番号等発信者に関する個人情報を通知する電気通信サービス（以下「発信者情報通知サービス」という。）の利用者を対象として、通知を受けた個人情報の取扱いに関する基本的事項を定めることにより、発信電話番号等発信者に関する個人情報及びこれに結合して保有される個人情報を保護することを目的とする。

2. 定義

(1) 発信者個人情報

発信者情報通知サービスにより通知される個人に関する情報であって、当該情報に含まれる電話番号、氏名、生年月日、その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号、影像又は音声により当該発信者を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該発信者を識別できるものを含む。）をいう。

(2) 事業用サービス利用者

発信者情報通知サービスを利用する法人その他の団体及び自己が営む事業において発信者情報通知サービスを利用する個人をいう。ただし、国及び地方公共団体を除く。

(3) 記録

コンピューター等による自動処理を行うかどうかにかかわらず、通知された発信者個人情報を後に取り出すことができる状態で保存することをいう。ただし、発信者に対して折り返し通信を行う目的で一時的に発信者個人情報を保存する場合を除く。

3. 発信者個人情報の記録の制限等

(1) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報を記録する場合には、記録目的を明確にし、その目的の達成に必要な範囲内で行わなければならない。

(2) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報の記録を行う場合、情報主体に対し、発信者個人情報を記録すること及び記録目的を告げなければならない。ただし、情報主体が既にこれを知っている場合はこの限りではない。

(3) 事業用サービス利用者は、コンピューター等による自動処理により発信者個人情報の記録を行う電話番号について、誰もが知り得る簡便でわかりやすい方法で周知しなければならない。

4. 発信者個人情報の利用の制限

事業用サービス利用者は、記録目的の範囲を超えて、発信者個人情報を利用してはならない。

5. 発信者個人情報の提供の制限

事業用サービス利用者は、発信者個人情報を外部へ提供してはならない。ただし、次のいずれかに該当する場合には、記録目的にかかわらず、当該個人情報を外部へ提供することができる。

- (1) 発信者が外部への提供について同意した場合
- (2) 法令の規定により提供が求められた場合

6. 不当な差別的取扱いの制限

事業用サービス利用者は、発信者情報通知サービスの利用に際し、不当な差別的取扱いを行ってはならない。

7. 発信者個人情報の適正管理

- (1) 事業用サービス利用者は、記録目的に応じて発信者個人情報の正確性を保つよう努めなければならない。
- (2) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報への不当なアクセス、その紛失、破壊、改ざん、漏洩等に対して適切な保護措置を講じなければならない。
- (3) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報の処理を外部に委託する場合には、契約等の法律行為に基づき、当該発信者個人情報に関する秘密の保持等に関する事項を明確にし、個人情報の保護に十分配慮しなければならない。

8. 事業用サービス利用者の発信者個人情報の開示及び訂正・削除

- (1) 事業用サービス利用者は、情報主体から自己に関する発信者個人情報の開示の請求があった場合、本人であることを確認した上でこれに応じなければならない。
- (2) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報に誤りがあって、情報主体から訂正・削除を求められた場合、正当な理由なく、その請求を拒んではならない。
- (3) 事業用サービス利用者は、発信者個人情報の誤りを訂正・削除するまでは、その情報を利用してはならない。

通話中着信のサービス概要

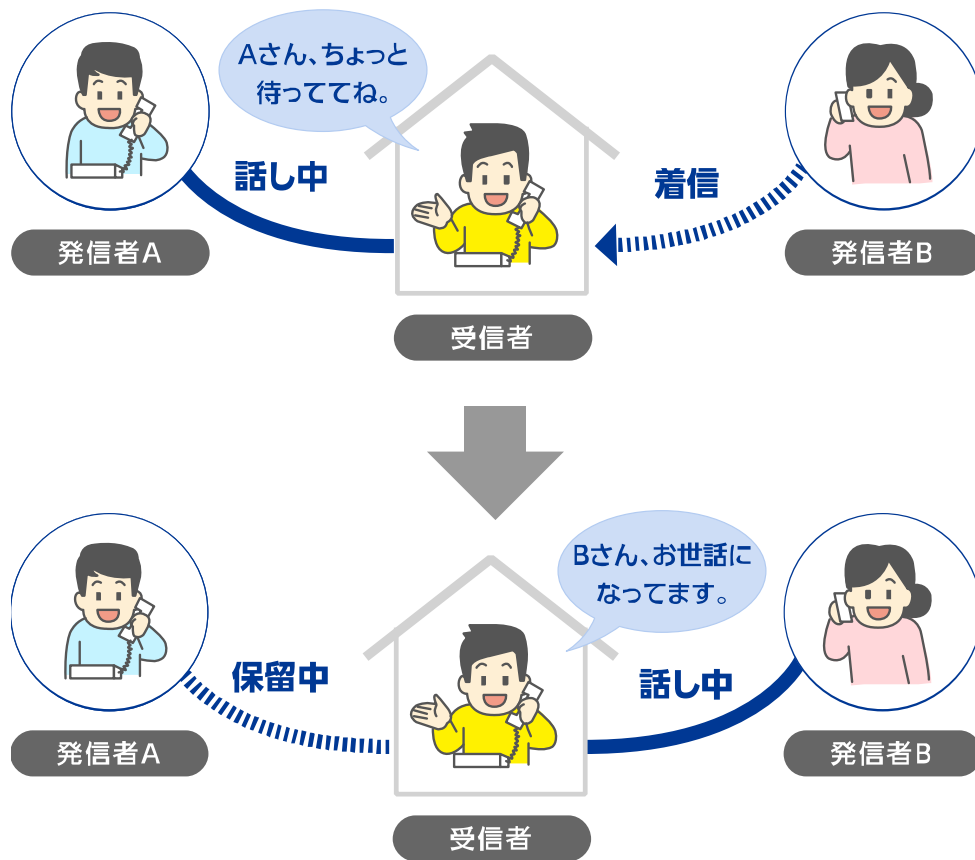
※「通話中着信」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の月額使用料に含まれる付加サービスです。

「通話中着信」の機能

お話し中に他から電話がかかってきた場合、フックボタン*を押すだけで、通話相手を保留し、後からかけてきた方とお話しいただけます。

*電話機の種類によっては、フックボタンを「フラッシュ」「⑦」等と表示している場合があります。

※お待ちいただいている方には保留音が流れます。フックボタンを押すことにより、お話し相手を切り替えることができます。



ご利用上の留意事項

- お話し中に、後からかかってきた電話に応答するため、通話相手の方にお待ちいただいている間の通話料は、
 - ・ 「通話中着信」ご契約者からかけた電話の場合、「通話中着信」ご契約者のご負担になります。
 - ・ 「通話中着信」ご契約者にかかってきた電話の場合、電話をかけてきた方のご負担になります。
- フックスイッチまたはフックボタンを長く押しますと、電話が切れてしまうことがあります。
- お話し中に他からかけてこられた方には、呼出し音が聞こえます。なるべく早く応答してください。
- 次のようなときは、他から電話がかかってきても信号が入らないことがあります。
 - ・ 受話器をとってダイヤルする前の発信音が聞こえているとき。
 - ・ ダイヤル中のとき。
 - ・ 相手の方のダイヤルを回し終わって、呼出し音が鳴っているとき。
 - ・ 110番や119番等との通話中のとき。
- 「通話中着信」を一時的に停止することはできません。停止する場合は、ご契約を廃止する必要があります。再度「通話中着信」をご利用する場合は、お申し込みと工事費が必要です。

[テレビ電話ご利用上の留意事項]

- 通話または通信中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。

[高音質電話ご利用上の留意事項]

- 通話または通信中に、「通話中着信」による高音質電話を受けることはできません。標準音声での通話となります。

[データ接続通信ご利用上の留意事項]

- 通話または通信中に「データ接続通信」で着信した場合、「通話中着信」は作動しません。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
着信番号表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 割り込み着信に対する電話番号は表示されません。 ● AsahiNet 光電話対応機器の「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」等での割り込み着信の際にも、「着信番号表示」による電話番号を表示します。 <p>※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイを「使用しない」に設定されています。</p> <p>※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。</p> <p>※AsahiNet 光電話対応機器「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることをご利用いただけます。</p>
ナンバー・リクエスト	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を『通知しない』でかかってきた場合、「通話中着信」は機能せず、「ナンバー・リクエスト」のメッセージで応答します。
着信転送	<ul style="list-style-type: none"> ● 無条件転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ● 無応答時転送設定時 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ● 話中時転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：転送先へ転送します。 ● ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中や着信拒否など）には、「通話中着信」等は作動せず割り込み音は鳴りません。
着信拒否	<ul style="list-style-type: none"> ● 「迷惑電話リスト」に登録された相手による割り込み時は「迷惑電話拒否」が優先されます。 ● 「迷惑電話リスト」に登録する場合、「通話中着信」により応答した通話相手（第三者）が登録対象となり、最初の通話相手は登録できません。
着信お知らせメール	「通話中着信」により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
ダブルチャネル	2チャネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。 1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。ただし、AsahiNet 光電話対応機器の割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
指定着信機能*	指定着信番号へ着信した場合は、「通話中着信」はご利用できません。

* 「AsahiNet 光電話対応機器」の機能です。

通話中着信のご利用方法

ご利用前に、電話機等へ特別な設定は不要です。

通話中に、他から電話がかかってくると	
	<p>通話中の受話器から「ツー…、プブッ、プブッ…」という割込音が聞こえます。 (後からかけてきた方には、通常の呼出し音「プルルル…」が聞こえています。)</p>

お話し中の相手にお待ちいただき、後からかかってきた電話に応答したい場合	
<p>フックスイッチ</p> <p>または</p> <p>フックボタン</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① お話し中の相手にそのままお待ちいただく了解を得て ② フックスイッチ（受話器を置くところ）またはフックボタンを1回押します。 ※電話機によっては、フックボタンを「フラッシュ」「㊦」等と表示している場合があります。 ③ 後からかかってきた電話に応答できます。 (お待ちいただいている方には保留音のメロディ等が流れます。) ④ 後からかかってきた方とのお話しが終わりましたら、フックスイッチまたはフックボタンをもう一回押します。 ⑤ 最初にお話しの方との通話に戻ります。

※最初にお話し相手にお待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料がかかります。

お話し中の通話を終了し、後からかかってきた電話に応答したい場合	
	<ol style="list-style-type: none"> ① お話し中の通話を終えて、受話器を置くとすぐにお客様の電話のベルが鳴ります。 ② 受話器をとると、かかってきた電話に応答できます。

※電話のベルを確認せずフックスイッチまたはフックボタンで通話相手を切替えますと、「通話中着信」機能がはたらき最初にお話しした相手の方が受話器をおくまで、最初の通話が保留され通話料がかかります。

着信転送のサービス概要

※「着信転送」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の月額使用料に含まれる付加サービスです。

「着信転送」の機能

自宅や事務所にかかってきた電話をあらかじめ指定した電話番号へ転送できるサービスです。楽しい会話やビジネスチャンスを逃しません。

※「AsahiNet 光電話」ご契約電話番号および番号追加のご契約・設定が必要です。

※本人確認手続きが必要なサービスです。



● 転送機能

自動転送機能

かかってきた電話をすべて転送します。

かける → 転送 → 転送先

発信者 → 転送元

セレクト機能

あらかじめ登録してある電話番号からかかってきた場合、登録電話番号のみを着信または転送します。

※かけてきた方の電話番号が非通知の場合、転送されません。

[登録電話転送]

かける → 転送 → 転送先

発信者 → 着信 → 転送元

登録電話番号

未登録電話番号

[登録電話着信]

かける → 転送 → 転送先

発信者 → 着信 → 転送元

未登録電話番号

登録電話番号

●転送方法

自動転送機能、セレクト機能それぞれで、以下の転送方法のいずれかを組み合わせてご利用いただけます。

無条件転送	呼び出し音を鳴らさずに転送
<p>転送元の電話を鳴らさずにかかってきた電話を転送先へ直接転送します。</p>	

無応答時転送	一定時間呼び出し音を鳴らしてから転送
<p>転送元の電話を一定時間鳴らした後に転送します。呼び出し音が鳴っている間に受話器をあげると、電話をかけてきた方とお話ができます。</p>	
<p>※呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。</p>	

話中時転送	お話し中のときに転送
<p>お客様がお話中でふさがっているときだけ、転送します。</p>	

無応答時転送 + 話中時転送	一定時間呼び出し音を鳴らしてから、またはお話し中のときに転送
<p>転送元の電話を一定時間鳴らした後、またはお話し中でふさがっているときに転送します。</p>	
<p>※呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。</p>	

● 設定操作

転送機能、転送方法は下記の操作で設定できます。

電話を利用した設定操作

転送元の電話から、音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で設定が行えます。

【外出先など別の電話からの操作（リモートコントロール機能）】

外出先などの別の電話（携帯電話等）から、音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で、転送の開始／停止、転送先の変更の設定が行えます。

インターネットを利用した設定操作

インターネットを利用できるパソコンや携帯電話から、Webブラウザ操作で設定が行えます。

一部のパソコンやスマートフォン等では、「ひかり電話設定サイト」は利用できません。詳細は下記設定サイトのページをご覧ください。

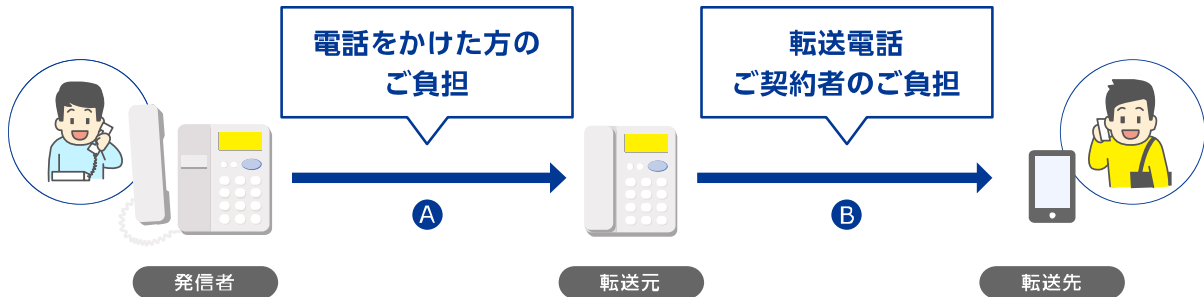
※一部の携帯電話パソコンからはご利用になれません。

東日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-east.net/
西日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-west.net/

※「着信転送」の設定操作について、詳しくは「AsahiNet 光電話設定ガイド」をご覧ください。

ご利用上の留意事項

- 加入電話、INSネットの付加サービス「ボイスワープ」と一部機能が異なります。
- 「ナンバー・リクエスト」「通話中着信」「着信拒否」をご利用中は「着信転送」が作動しない場合があります。
- 通常の電話の場合に比べ、転送するには電話をかけた方から転送先につながるまでに時間がかかります。
- 「着信転送」ご契約者までの通話料金（A）は、発信者のご負担となります。「着信転送」ご契約者から転送先まで（B）の通話料金は、ご契約者のご負担となります。



- 転送中も、「着信転送」ご契約者の電話から電話をかけることができます。
- 発信者が電話番号を通知する場合、転送元・転送先へ通知される電話番号は発信者の電話番号となります。発信者の電話番号が非通知の場合、転送元・転送先への通知は行いません。
- 「AsahiNet 光電話」の基本契約が一時中断の場合、転送はいたしません。
- 転送先への転送理由の通知は行いません。
- 発信者がかけた電話が転送されている旨を発信者および転送先に通知するアナウンスはありません。
- お客様が今お使いの電話機、FAX等の機種によっては、「着信転送」をご利用できない、または設定の変更等が必要となる場合があります。
- NTT東日本、NTT西日本以外の電話会社の回線を経由した通話については、登録番号転送（着信）機能が作動しない場合があります。
- 転送先からの申し出があり、必要な場合には、お客様（ご契約者）に代わって転送を停止することがあります。
- 転送された通話を、転送先においてさらに別の転送先に転送する場合には、通話品質は保証いたしかねます。
- 「ダブルチャネル」と「着信転送」を両方ご契約いただいている状態で、「着信転送」の転送機能をオンにしている場合、1通話目から転送機能が作動します。

【同時転送可能数】

同時に転送できる通話の数は、同時に利用可能な通話数となります（基本契約は通話数1、「ダブルチャネル」をご契約の場合は通話数2）*1 *2。なお、基本契約の場合は2つ目、「ダブルチャネル」ご契約の場合は3つ目の転送対象通話については転送されません*3。

*1 転送元が応答したか否かにかかわらず、1契約につき1つもしくは2つまでとなります。

*2 転送中であっても、発信および転送対象通話以外の着信は可能です。

*3 「無応答時転送」の場合は、転送元を呼び出し続けます。それ以外の転送方法の場合は、発信者に話中音を通知します。

【最大転送回数】

転送された通話を転送先において、さらに別の転送先へ転送する場合、最大転送回数は5回までに制限されます。6回目の転送を行おうとすると、発信者に話中音を通知します。

【話中時転送】

話中時転送設定している電話番号を、着信電話番号として設定されているAsahiNet 光電話対応機器のポートに、電話機等が接続されていない状態で、その電話番号に着信があった場合、発信側には呼出音が流れ話中とならないため、話中時転送はいたしません。

【転送先規制番号】

以下の転送先規制番号は「転送先リスト」に登録できません。

区分	転送先規制番号	サービス
00XY系	00XY（全事業者の番号）	事業者接続
0A0系	010	国際接続
0AB0系	0120	着信課金サービス
	0800	
	0570	特定番号着信サービス
	0170	伝言ダイヤル
	0180	テレゴンク／テレドーム
	0990	災害募金番組
1XY系	1XY	すべて
#ABCD	#ABCD	すべて

※詳細は「接続できない番号について」(P.11) をご覧ください。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人にはナンバー・リクエストのメッセージで応答します。
通話中着信	<ul style="list-style-type: none"> ●無条件転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ●無応答時転送設定時 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ●話中時転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「着信転送」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：転送先へ転送します。 ●ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中など）には、「通話中着信」等は作動せず割り込み音は鳴りません。
着信拒否	「迷惑電話リスト」に登録されている電話番号からかかってきた場合、「着信拒否」が優先され、メッセージで応答するため着信・転送しません。
着信お知らせメール	転送条件にかかわらずすべてお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合を除きます。
番号追加	「着信転送」を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
ダブルチャネル	<ul style="list-style-type: none"> ●無条件転送設定時 最大2コール目まで、転送されます。 ●無応答時転送設定時 最大2コール目まで、設定された時間経過後の着信コールについて転送されます。着信時に2チャネルとも通話中であった場合は、話し中となり、転送されません。 ●話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、すべて通話中の場合、最大2コール目まで転送されます。 ●指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
指定着信機能*	指定着信番号は転送されません。

* 「AsahiNet 光電話対応機器」の機能です。

AsahiNet 光電話「着信転送」と加入電話「ボイスワープ」および「INSボイスワープ」の違い

加入電話「ボイスワープ」および「INSボイスワープ」とは以下のとおり、一部サービス内容が異なります。

内容		AsahiNet 光 電話 「着信転送」	加入電話 ボイスワープ	INSボイスワープ	
機能	転送方法	無条件転送	あり	あり	
		無応答時転送	あり	あり	
		話中時転送	あり	なし	
		指定転送	あり	なし ※ボイスワープセレクトにて提供	なし ※ボイスワープセレクトにて提供
		応答後転送	なし	あり	なし
	転送トーク		なし	あり	あり
	転送元案内トーク		なし	あり	あり
	転送元電話番号通知		なし	あり ※転送先で転送元番号 受信サービスの契 約、対応機器が必要	あり ※転送先で転送元番号 受信サービスの契 約、対応機器が必要
	転送先リストへの登録可能数		4件	5件	5件
	無条件転送時の 「解除忘れ防止音」		なし	あり	なし
無応答転送時の 転送タイミング設定		秒数設定 (5~60秒)で 1秒単位に指定	呼び出し回数設定 (1~9回)	秒数設定 (5~60秒)で 5秒単位に指定	
操作	転送設定ごとの契約電話番号設定		不要	不要	
	転送開始ごとの転送条件設定		要	不要	
	外出先など別の電話からの操作 (リモートコントロール機能)		可 ※リモートコントロール 用アクセス番号へのダ イヤル	可 ※リモートコントロール 用アクセス番号への ダイヤル ※加入電話・INSネット 回線から「142+7」 へのダイヤル	可 ※リモートコントロール 用アクセス番号への ダイヤル ※加入電話・INSネット 回線から「142+7」 へのダイヤル
	インターネットによる操作		一部可	不可	不可

※NTT東日本・NTT西日本のNTTひかり電話「ボイスワープ」とAsahiNet 光電話「着信転送」は同じサービス内容です。

着信拒否のサービス概要

※「着信拒否」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の月額使用料に含まれる付加サービスです。

「着信拒否」の機能

迷惑電話を受けた直後に電話機から簡単な登録操作を行うことで、その後同じ電話番号からかけてきた相手に対して、「この電話はお受けできません。ご了承ください。」とメッセージで応答するサービスです。
 なお、「番号追加」をご契約のお客様の場合、お申し込みの際に「電話番号単位」のご契約か「契約回線単位」のご契約かのいずれかを選択できます。（下図）

- ※着信拒否の対象電話番号は「迷惑電話リスト」に登録されます（公衆電話も登録可能です）。1つのリストにつき最大30件まで登録できます。登録数が30件を超える登録については、確認メッセージのあと、最も古い登録内容を削除いたします。
- ※「迷惑電話リスト」に対する効果を確認できます。当月、前月の2か月分の着信拒否回数が確認できます。ただし、サービス利用開始月は、当月分のみ確認となります。
- ※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際通話など電話番号を通知できない通話については、登録および着信拒否できません。
- ※メッセージ応答した通話については、発信者に課金されます。
- ※当社は、本サービスのメッセージ応答に伴い発生する損害等については、責任を負いません。
- ※電話をかけてきた相手側が、フリーダイヤル番号「0120」など、契約の電話番号とは異なる番号を通知している場合は、着信拒否できないことがあります。

● 契約単位

ご利用の電話番号単位でのご契約
 (サービス契約電話番号のみ着信拒否が可能)

1111番、2222番それぞれで、ストップ機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が異なる場合は、着信拒否を電話番号単位で契約し、それぞれの「迷惑電話リスト」に<X>、<Y>を登録すれば、ストップ機能（着信拒否）が利用可能です。

相手<X>

- ・着信拒否契約あり
- 【電話番号単位の契約】
- ・「迷惑電話リスト」に「X」登録あり

契約番号 1111 番

相手<Y>

- ・着信拒否契約あり
- 【電話番号単位の契約】
- ・「迷惑電話リスト」に「Y」登録あり

契約番号 2222 番

契約回線単位でのご契約
 (ご利用の全電話番号で着信拒否が可能)

1111番、2222番とも、ストップ機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が共通である場合は、着信拒否を契約回線単位で契約し、「迷惑電話リスト」に<X>を登録すればストップ機能（着信拒否）が利用可能です。

相手<X>

- ・迷惑電話おことわりサービス契約あり
- 【契約回線単位の契約】
- ・「迷惑電話リスト」に「X」登録あり

契約番号 1111 番

契約番号 2222 番

※電話番号単位に「着信拒否」をご契約中のお客様が、契約回線単位でのご契約に変更される場合、「迷惑電話リスト」の内容は引き継がれません（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も同様です）。

※電話番号単位に「着信拒否」をご契約中のお客様が、契約回線単位でのご契約に変更される場合、別途工事費2,200円がかかります（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も契約される電話番号数に応じた工事費がかかります）。

ご利用上の留意事項

- 登録した相手の電話番号はわかりません。
- 登録した相手が電話をかけてきたときには、相手側に次のメッセージが流れます（2回繰り返したあとに切れます）。

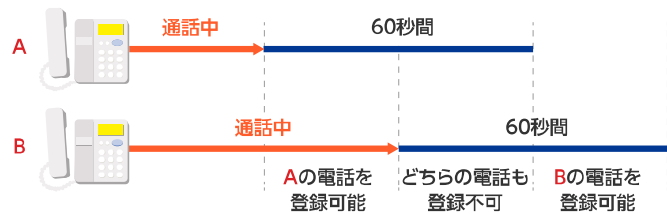
この電話はお受けできません。ご了承ください。

※このとき、お客様の電話のベルは鳴りません。また、お客様の電話の発信や着信は通常どおり可能です。

- 「迷惑電話リスト」に登録された電話番号から「データ接続通信」で着信した場合、着信は拒否されますが、音声メッセージでの応答はしません。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
着信番号表示	「着信拒否」で登録された内容が優先されます。
ナンバー・リクエスト	
着信転送	
通話中着信	<p>登録対象となる電話を間違えないよう下記の事項にご注意願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お話し中にあとからかかってきた電話に応答した場合は、それ以降、切り替えた電話が登録の対象となります。 <div style="text-align: center;"> </div> <p>*あとからかかってきた電話とお話しが済んで、最初の電話の方とお話ししても、登録の対象となる電話はあとからかかってきた電話となりますのでご注意ください。</p> <p>※「通話中着信」と「ダブルチャネル」を同時契約した場合、「ダブルチャネル」の登録動作が優先されます。</p> <p>ケース1 迷惑電話に対応中に、他から電話がかかってきた場合</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>登録操作 A（契約者）がB（迷惑電話発信者）からの電話応対中に「通話中着信」の信号音が入った場合、通話中着信の切り替え操作をせずに電話を切り、呼び出し音が鳴らなくなってから、登録操作を行ってください。</p> <p>※なお、「通話中着信」で切り替えてしまうと、切り替えたCの電話が登録の対象となってしまいますので、ご注意ください。</p> </div> <p>ケース2 お話し中に他からかかってきた電話に応答したところ、それが迷惑電話だった場合</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>登録操作 A（契約者）がB（普通の電話）とお話し中に「通話中着信」で切り替えた電話がC（迷惑電話発信者）からの電話であった場合、最初の方とのお話しが済んだあとに、いったん受話器をおろして登録操作を行ってください。</p> </div>

<p>着信お知らせメール</p>	<p>「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。</p>
<p>ダブルチャンネル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●登録対象となる電話は最後に切った電話となります。 ●登録可能な時間は、電話を切った後60秒以内に限られます。 ●登録可能な電話が複数ある場合、どちらも登録できません。 
<p>番号追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「着信拒否」をご契約いただいた電話番号を発信電話番号として設定している電話機から登録してください。他の電話番号を発信電話番号として設定している電話機から操作した場合、登録を行えません。 ●「着信拒否」を複数ご契約いただいている場合は、ご契約いただいた番号ごとの登録となります。

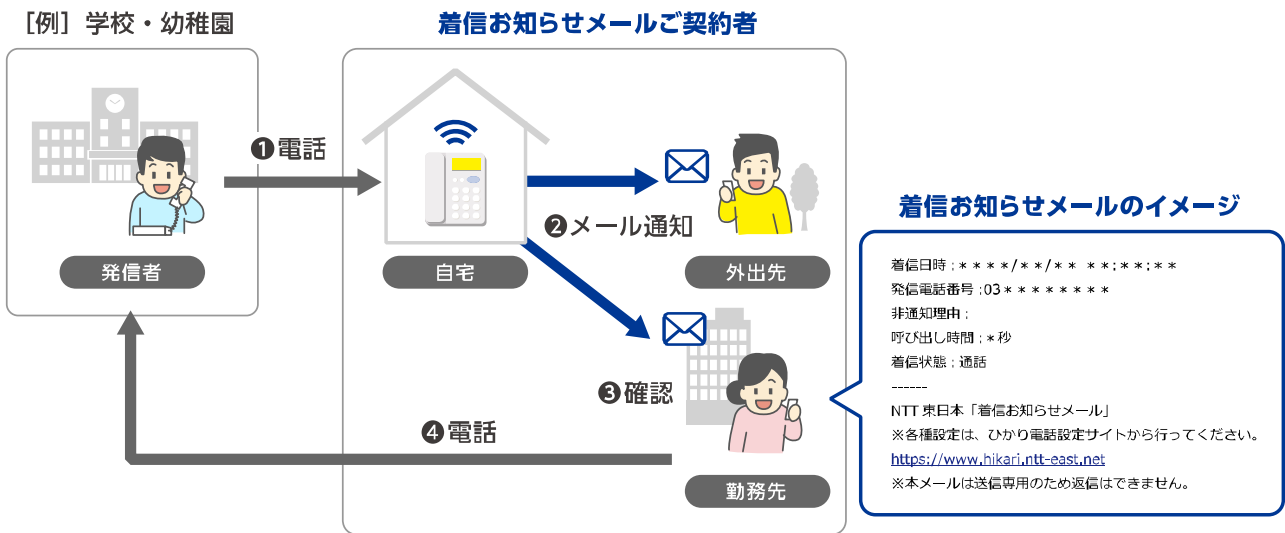
着信お知らせメール／FAXお知らせメールのサービス概要

※「着信お知らせメール」は、「AsahiNet 光電話セットプラン」の月額使用料に含まれる付加サービスです。

「着信お知らせメール」の機能

自宅や会社の「AsahiNet 光電話」ご契約回線に電話があったことを、任意のパソコンや携帯電話のメールアドレスへ通知します。仕事中や買い物中であっても、学校からなど大事な電話があったことをメールで確認することができます。

- 着信情報をお知らせするメールアドレスは最大5件まで設定可能です。
- あらかじめ登録した電話番号からかかってきた場合のみ、着信情報をお知らせすることも可能です。登録可能な電話番号は最大30件です。
- 電話に出られなかった着信のみ、お知らせすることも可能です。



他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
通話中着信	「通話中着信」により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
着信転送	転送条件にかかわらずすべてお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合は除きます。
着信拒否	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。

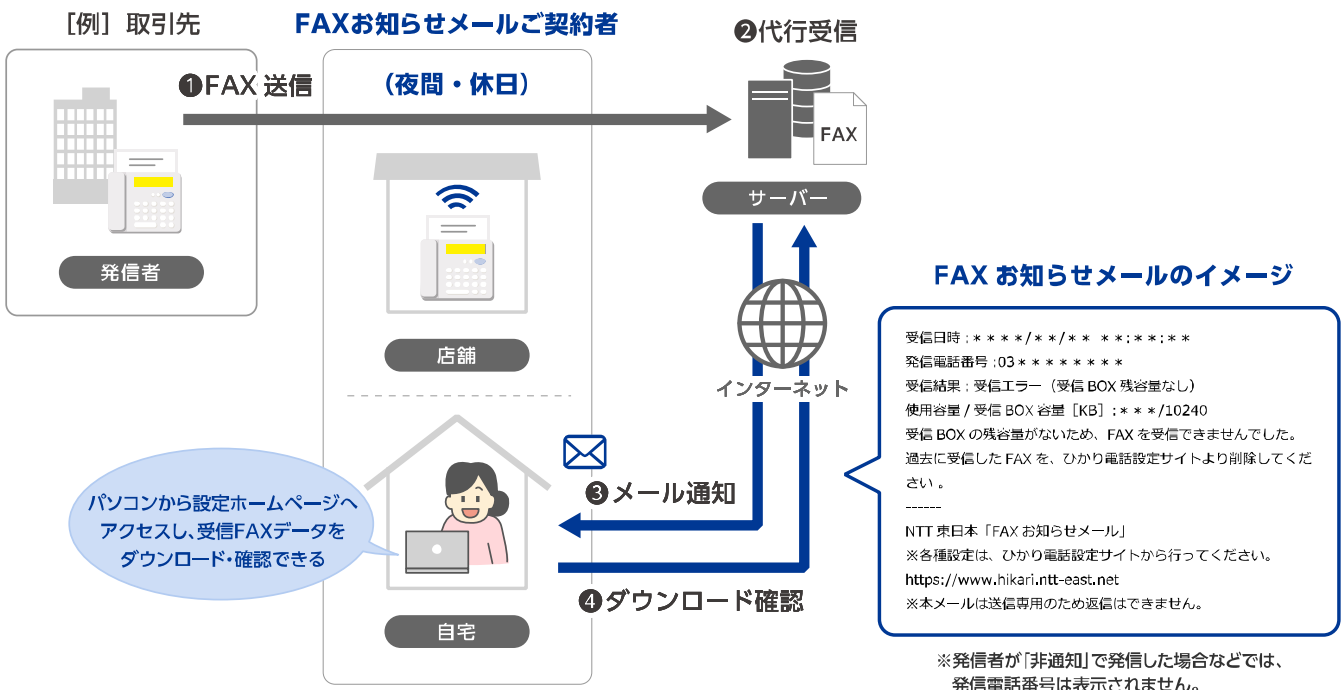
「FAXお知らせメール」の機能

自宅や会社のAsahiNet 光電話ご契約回線にFAXがあったことを、任意のパソコンや携帯電話のメールアドレスへの通知により確認できます。FAXの内容はパソコンやスマートフォン等から閲覧することができます。店舗のお休み中に、お客様からFAXがあっても、自宅のパソコンからFAXの内容を確認することができます。

- 着信情報をお知らせするメールアドレスは最大5件まで設定可能です。
- 受信したFAXは、当社のサーバーで代行受信します。受信可能な容量は1契約につき10MB（A4判1枚80KBとした場合125枚程度）または1,000件（受信エラーを含む）です。
- 受信可能な用紙サイズはA4判、B4判です。
- FAXのデータはTIFF形式のファイルで提供しており、スマートフォンでFAX内容をご覧いただくためには下記2つのソフトが必要となります。

- ①TIFF形式のファイルをダウンロードできるブラウザ
- ②TIFF形式のファイルを閲覧できるソフト

スマートフォンに標準でインストールされているブラウザや閲覧ソフトでTIFF形式のファイルを正しく扱うことができない場合は、上記2つのソフト（アプリケーション）をインストールしていただくことによりご利用が可能となります。



ご利用上の留意事項

- データ接続通信で着信した場合、本サービスは作動しません。
- 受信可能な用紙サイズはA4判・B4判です、それ以外で送信された場合、動作保証対象外となります。
- 1回の受信での最大受信枚数は98枚です。
- 受信したFAXはTIFF形式のデータに変換されます。画像閲覧ソフトは本サービスには付属しておりませんので、お使いのソフトウェアをご利用ください。Windows、Macの標準閲覧ソフトもご利用いただけます。
- 携帯電話では、FAX画像の表示およびダウンロードはできません。
- スマートフォン、タブレット端末等でFAX内容をご覧いただくためには、TIFF形式のファイルをダウンロードできるブラウザ、およびTIFF形式のファイルを閲覧できるソフトが必要となります。
- 受信BOXの容量は10MB（例：A4判1枚80KBとした場合125枚程度 ※データ量は、受信したFAXにより異なります。）です。
 ※BOXの残量が無くなるとFAXの受信ができなくなりますので、ダウンロードしたFAXデータは、定期的に削除するようにしてください。
 ※受信可能な容量は、1契約につき10MBまたは1,000件（受信エラーを含む）です。
- 本サービスは、サービス設定ホームページへ接続し、FAX受信の「開始／停止」の設定ができます。設定が「開始」の状態の場合、電話の発信は可能ですが、通常の電話（音声）がかかってきても、電話機の着信音が鳴りません。ご利用の際は、マイナンバーのご契約をお勧めします。
- 本サービスを解約した際、受信データは全て消去されます。本サービス解約前に必要に応じダウンロードしてください。
- 発信者の方がG4FAXおよびスーパーG3FAXをご利用の場合、FAXの受信ができません。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

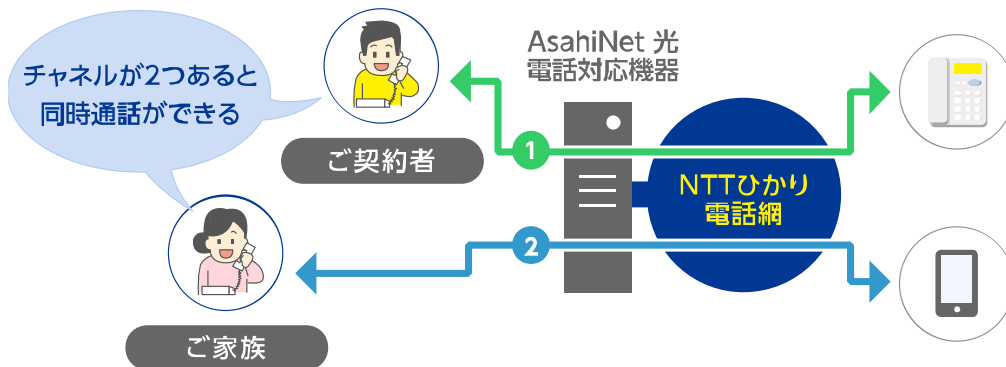
サービス名等	留意事項
通話中着信	FAX受信「開始」設定中、電話の通話中に音声による通常の電話がかかってきても、割り込み音（ツー・・・ププッ、ププッ・・・）は聞こえず、後からかかってきた方との通話ができません。
着信番号表示	FAX受信「開始」設定中の着信については、電話番号表示はされません。
ナンバー・リクエスト	FAX受信「開始」設定中であっても、FAXの発信電話番号が非通知の場合は、FAX代行受信されません。
着信転送	同一電話番号で着信転送との同時契約はできません。
着信拒否	FAX受信「開始」設定中であっても、「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信は、FAX代行受信されません。
着信お知らせメール	同一のメールアドレスを送信先として登録している場合は、両サービスのお知らせメールがそれぞれ送信されます。

ダブルチャンネルのサービス概要

「ダブルチャンネル」の機能

「AsahiNet 光電話」1契約で同時に2回線分の通話ができるサービスです。2回線分の同時通話ができるため、2世帯住宅や店舗兼住宅でのご利用が可能です。

ダブルチャンネル	最大2チャンネル（追加1チャンネル）
----------	--------------------



他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

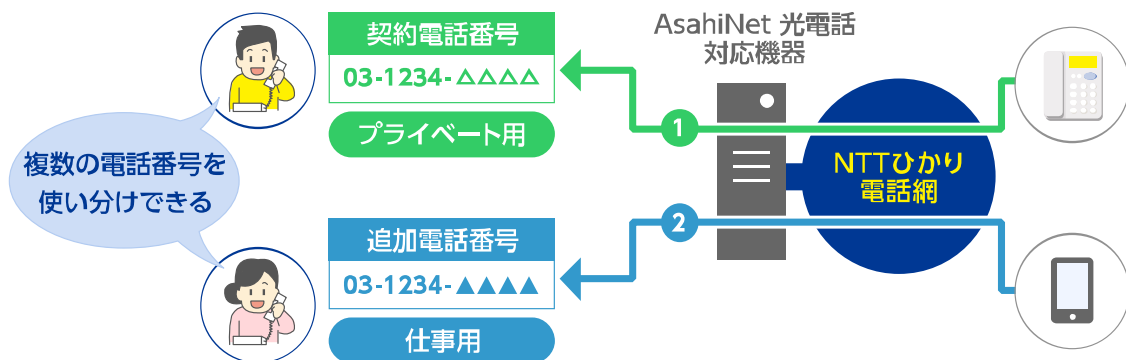
サービス名等	留意事項
通話中着信	2チャンネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。1チャンネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。 ただし、AsahiNet 光電話対応機器の割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
着信転送	<ul style="list-style-type: none"> ●無条件転送設定時 最大2コール目まで、転送されます。 ●無応答時転送設定時 最大2コール目まで、転送タイマ満了後の着信コールについて転送されます。 また、着信時に2チャンネルとも通話中であった場合は、転送されず、転送元を呼び出し続けます。 ●話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、すべて通話中の場合、最大2コール目まで転送されます。 ●指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
着信拒否	<ul style="list-style-type: none"> ●「ダブルチャンネル」で同時通話をしている場合、「迷惑電話リスト」に登録される電話番号は、最後に切断された電話番号となります。 ●「迷惑電話リスト」への登録は、通話切断後60秒以内となります。

番号追加のサービス概要

「番号追加」の機能

「AsahiNet 光電話」1契約で、最大5つの電話番号が利用できます。家族ひとり一人が自分の番号を持てるから、大切な人からの電話もダイレクトに受けることができます。

番号追加	最大5番号（契約電話番号＋追加4番号）
------	---------------------



※2回線分の同時通話をするためには、「ダブルチャネル」の契約が必要です。

ご利用上の留意事項

「番号追加」ごとに発信電話番号の「通知」「非通知」の設定が可能です。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

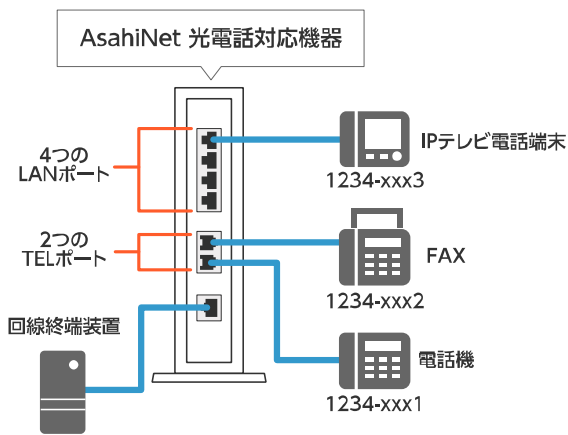
サービス名等	留意事項
着信転送	「着信転送」を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
着信拒否	電話番号ごとのご契約と設定が必要です。

番号追加のご利用方法

「番号追加」をご利用の場合、AsahiNet 光電話対応機器に設定が必要となる場合があります。

- 設定はパソコンにより「設定Web画面」上で行います。
- AsahiNet 光電話対応機器に接続した電話機のポートごとに「番号追加」の設定（発信電話番号／着信電話番号等）を行います。

接続例



電話番号		通信機器
契約電話番号	03-1234-xxx1	電話機
番号追加	03-1234-xxx2	FAX
番号追加	03-1234-xxx3	IPテレビ電話端末

設定例

	TELポート1	TELポート2	IP端末1	IP端末2
内線番号	1	2	3	4
着信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx1 03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4
発信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4

※1つの接続ポートに発信電話番号として設定できる電話番号は1つです。

詳しい設定方法については、機器に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

テレビ電話のサービス概要

※「テレビ電話」は、「AsahiNet 光電話」の基本サービスとしてご利用になれます。

「テレビ電話」の機能

NTT東日本・NTT西日本および光コラボレーション事業者が提供するNTTひかり電話（法人向けNTTひかり電話も含む）契約者間でテレビ電話がご利用いただける機能です。

専用の電話端末のほか、現在お使いのパソコンやスマートフォン・タブレット端末などでも、高品質で滑らかな映像のテレビ電話を楽しめます。

※別途、テレビ電話対応機器が必要です。

※NTT 東日本・NTT 西日本が提供するNTTひかり電話から「AsahiNet 光電話」に「転用」された一部のお客様においては、別途お申し込みが必要となる場合があります。



ご利用上の留意事項

- 通常の電話番号（0AB～J番号）で利用できます。
- 「テレビ電話」の契約がないひかり電話契約者とは、音声での通話のみとなります。
- 緊急通報（110/119/118）は、音声通話として発信できます。
- 通話相手によっては、標準品質のテレビ電話となる場合があります。
- IPテレビ電話端末などにテレビ電話の着信があった場合は、IPテレビ電話端末などのみ呼出音が鳴ります。他の電話機等へは着信しません。IPテレビ電話端末などが無い場合は、呼出音が鳴らず音声通話により再接続となります。
- 音声通話で着信した場合は、IPテレビ電話端末以外の電話機とも通話できます。

サービス名等	留意事項
通話中着信	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声通話中またはテレビ電話通話中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。 ● IPテレビ電話端末などでテレビ電話通話中は、「通話中着信」による通話（音声通話、テレビ電話）を受けることはできません。また、割込通知音が聞こえません。
優先着信機能	LANポートにて優先着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて優先着信機能の設定をしている場合、「テレビ電話」のご利用ができない場合があります。
指定着信機能	LANポートにて指定着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて指定着信機能の設定をしている場合でも、「テレビ電話」の利用は可能です。

「テレビ電話」のご利用方法

〈通信機器〉

- 本サービスのご利用には、「AsahiNet 光電話」に対応したテレビ電話対応機器が必要です。
- 通話相手も、ひかり電話および法人向けひかり電話に対応したテレビ電話対応機器をお持ちである必要があります。

〈接続方法〉

- 本サービス対応の電話機は「AsahiNet 光電話対応機器」のLANポートに接続します。
- 「AsahiNet 光電話対応機器」の設定が必要となる場合があります。

高音質電話のサービス概要

※「高音質電話」は、「AsahiNet 光電話」の基本サービスとしてご利用になれます。

「高音質電話」の機能

ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士なら、従来の加入電話よりも高音質で通話ができる機能です。標準音声の周波数帯域（3.4kHzまで）と比べ、約2倍の帯域（7kHzまで）を使用するため、よりクリアな通話を実現します。

※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※別途、高音質電話対応機器が必要です。

※NTT東日本・NTT西日本が提供するNTTひかり電話から「AsahiNet 光電話」に「転用」された一部のお客様においては、別途お申し込みが必要となる場合があります。

※「高音質電話」による通話は、標準音質の通話と同じ通話料3分8.8円となります。

ご利用上の留意事項

- 通話先の電話機が「高音質電話」に対応していない場合、標準音質での通話となります。
- 「高音質電話」対応の電話機から117（時報）や177（天気予報）等のガイダンスをお聞きになる場合は、標準音質の音声となります。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
通話中着信	お話し中に「高音質電話」対応の電話機から電話がかかってきた場合、かかってきた電話との通話は標準音質の通話となります。

「高音質電話」のご利用方法

〈通信機器〉

- 本サービスのご利用には、対応電話機が必要です。
- 通話相手が本サービスに対応した電話機をお持ちである必要があります。

〈接続方法〉

- 本サービス対応の電話機は「AsahiNet 光電話対応機器」のLANポートに接続します。
- 「AsahiNet 光電話対応機器」の設定が必要となる場合があります。

データ接続通信のサービス概要

※「データ接続通信」は、「AsahiNet 光電話」の基本サービスとしてご利用になれます。

「データ接続通信」の機能

「データ接続通信」とは、ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士が、ひかり電話の電話番号を利用して写真やファイル共有などのデータ通信ができる機能です。

※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※別途、対応機器が必要です。

※NTT東日本・NTT西日本が提供するNTTひかり電話から「AsahiNet 光電話」に「転用」された一部のお客様においては、別途申し込みが必要となる場合があります。



ご利用上の留意事項

- 通信先が「データ接続通信」に対応していない機器の場合、「データ接続通信」での接続はできません。
- 「データ接続通信」の通信料は、テレホンカードおよびICテレホンカードによるお支払いの対象外です。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

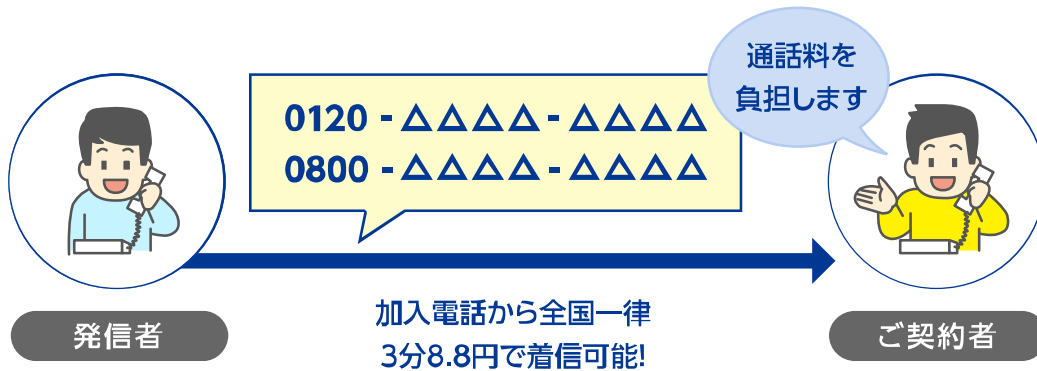
サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	「データ接続通信」で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。
通話中着信	お話し中に、「データ接続通信」で着信した場合、「通話中着信」は作動しません。
着信拒否	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信が、「データ接続通信」による場合には着信拒否はされますが、メッセージで応答はしません。

通話料着信者払いのサービス概要

「通話料着信者払い」の機能

「0800」または「0120」で始まる通話料着信者払い番号にかかってきた電話の通話料を着信側（本サービスご契約者）にご負担いただくサービスです。

- 現在利用中の「0800」または「0120」の着信課金番号をそのまま利用することができます。
- 全国から着信が可能です。発信地域の指定や、携帯電話等からの着信の許容・非許容の指定もできます。
- 加入電話から全国一律3分8.8円でご利用できます。



ご利用上の留意事項

- 通話料着信者払い番号として、「0120」から始まる番号をご利用できない場合があります。
- 050IP電話、国際電話、衛星・船舶・航空機からの着信はできません。
- テレビ電話、高音質電話、データ接続通信での着信はできません。
- 複数の着信グループを設定し、それらの発信地域指定を同一都道府県の料金区域単位（全国566）とした場合、携帯電話からの接続が可能な着信グループは同一都道府県内では1つに限定されます。
- 着信者（本サービスご契約者）が、留守番電話機などの案内装置を設置し、フリーアクセスガイダンスと併用（留守番セット）する場合、発信者へは、ガイダンスが重なって聞こえます。
- 着信者（本サービスご契約者）が、電話/FAX用機で電話優先モードにて電話応答した場合、電話/FAX用機側の呼び出しから応答までの時間がフリーアクセスガイダンスより長いとガイダンスが終了し、着信者にはフリーアクセスガイダンスが聞こえない場合があります（兼用機の端末機種や設定、応答の仕方によって状況が異なります）。
- 通話料着信者払い通話料は、テレホンカードおよびICテレホンカードによるお支払いの対象外です。
- 本サービスのご利用による通話料は、セットプランの月額利用料に含まれる通話料分の対象外です。

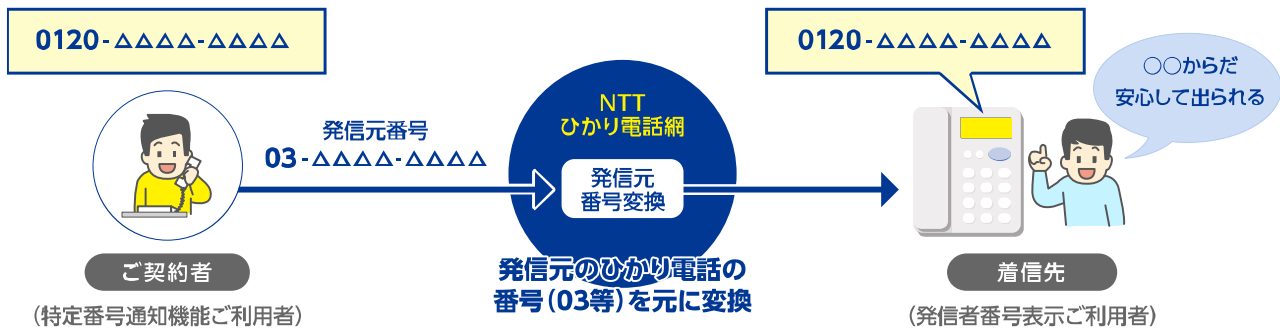
他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
着信転送	<p>「着信転送」の「話中時転送」で指定した転送先と「通話料着信者払い」の「話中時迂回機能」で指定した迂回先が異なる場合には次のとおり注意が必要です。</p> <p>(1) 「通話料着信者払い」で通話中に別の「通話料着信者払い」の着信があった場合は、「話中時迂回機能」で指定した迂回先に着信します。</p> <p>(2) 「通話料着信者払い」を経由せずに着信または自ら発信した電話で通話中に、「通話料着信者払い」の着信があった場合は、「着信転送」の「話中時転送」で指定した転送先に着信します。</p>
ナンバー・リクエストおよび着信拒否	<p>「ナンバー・リクエスト」もしくは「着信拒否」が動作した時点で「通話料着信者払い」のフリーアクセスガイダンスが送られるため、発信者へのガイダンスが重なって聞こえます。</p>
FAXお知らせメール	<p>FAX受信「開始」設定の場合、音声通信はメディアサーバーに接続されるため、その電話番号への音声着信は受けられません</p>

特定番号通知機能のサービス概要

「特定番号通知機能」

0120、0800、0570から始まるNTT東日本・NTT西日本または他社の着信課金等サービスをご契約しているお客様が、当該サービスの契約回線から発信する場合、ナンバー・ディスプレイをご利用の着信先のお客様に対して、ひかり電話の電話番号（03等から始まる番号）ではなく、ご契約の着信課金番号等を通知するサービスです。着信先のお客様に安心して電話に出てもらったり、折り返し電話をかけてもらうことができます。



ご利用上の留意事項

特定番号通知機能をご利用する際、ご契約回線のひかり電話対応機器等の発信元番号は、必ず特定番号通知機能をご契約されているひかり電話番号（03等）としてください。

誤って、着信課金等サービスの番号（0120等）を発信元番号として設定したり、特定番号通知の契約のない番号を発信元番号として設定しないでください。

【重要】着信課金等サービスを廃止される場合について

特定番号通知機能をご利用されている場合で、着信課金等サービスを廃止される場合は、NTT東日本に特定番号通知機能の廃止の申し込みをお願いいたします。特定番号通知機能を廃止しない場合、着信先には廃止した着信課金等サービスの番号が通知され続けますのでご注意ください。なお、NTT東日本では他社着信課金等サービスの廃止状況を確認することはできません。

ひかり電話 #ダイヤルのサービス概要

「ひかり電話 #ダイヤル」の機能

AsahiNet 光電話契約者が「#と4桁の数字からなる番号（#ダイヤル番号）」をダイヤルするだけで、本サービス契約者が指定する電話番号へ着信できる*サービスです。各種お問い合わせ窓口や予約センターなどで覚えやすい番号をご利用いただけます。さらに、音声通話だけでなく、テレビ電話やデータコネクトでの着信もできますので、新たなビジネスシーンの創出に貢献します。

*加入電話などで既に#ダイヤルをご利用中の場合は、同一の#ダイヤル番号および着信回線をご利用いただけます。

ご利用上の留意事項

- 加入電話などで提供している「#ダイヤル」とは一部機能が異なります。

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定の場合、着信は音声も含めて全てメディアサーバーに接続されるため、その電話番号への音声着信等は受けられません。
通話料着信者払い	<ul style="list-style-type: none"> ●通話料着信者払いとひかり電話 #ダイヤルで、同一のひかり電話番号を、同時に接続先電話番号として使用できます。 ●ひかり電話 #ダイヤルの接続先電話番号として、通話料着信者払い番号は使用できません。

個人情報保護に関するご案内

プライバシーポリシーについて、詳しくは「ASAHIネットのホームページ」でご確認ください。

<https://asahi-net.co.jp/corporate/privacy.html>

重要事項説明書

「ASAHIネットのホームページ」でご確認ください。

<https://asahi-net.jp/service/agreement/>

AsahiNet 光電話利用規約

「ASAHIネットのホームページ」でご確認ください。

<https://asahi-net.jp/service/agreement/>

※本冊子に記載している金額は特に記載がある場合を除きすべて税込表示です。

※記載の社名や製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※本冊子に記載の内容は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

本ご利用ガイドの内容は2023年4月現在のものです **2023.4**